

平成 28 年 8 月 5 日 16 時 30 分～17 時 50 分

事務局報告

欠席委員の報告 (横澤委員、橋本委員、高橋稔委員、松浦委員、真木委員)
会議資料の確認 (当日追加分 2 種類)

牧野市長挨拶

本日はご多忙の中お集まりいただき感謝申し上げます。ご審議いただく内容としては平成 27 年度の病院事業会計決算と新経営改革プランの 27 年度分の実績報告である。

4 月から長島院長、山賀副院長、そして三好副院長の新しい体制でスタートしたところだが、名寄と連携体制をしっかりとりながら、士別は長島院長の方針にもあるとお救急はしっかり対応しながらも、一方では少子高齢化社会の中で療養をしっかりとやる役割分担が必要だということで、全てのスタッフがその方向を向いて頑張っているところであるので意見をいただきながら進めていきたい。

なお、いま士別にはたくさんの子供たちが訪れており、今日からサッカー大会が始まり 30 チームがピッチの中で試合を行っている。三好市からの野球少年団への挨拶でこの審議委員会に遅れてしまったわけですが、士別市に多くの方が訪れてきてくれており元気が湧いてくる状況である。

本日の日程、皆様からご提言ご指摘をいただきご審議をお願いしたい。

長島病院長挨拶 (及びスライド説明)

4 月から院長に就任しました長島です。本日は自己紹介を含めたスライドを用意したので委員の皆様にご覧いただき、当院が抱えている問題や目指している方向を理解いただきたい。

※別紙スライド資料参照

議事

・スライド「士別市立病院の現状」

(加藤事務局長説明)

※別紙スライド資料参照

・議案第 1 号「平成 27 年度士別市病院事業会計決算案」

(岡田経営管理課主幹説明)

それでは病院事業会計決算の資料について説明させていただく。3 ページ目の A3 版 3 つ折りの表をご覧ください。今回から決算の比較数値として、27 年度予算、26 年度決算、2 月の本委員会でご説明した 27 年度決算見込みについて、税込の数値で記載に改めている。

まず、2 月時点での決算見込みとの比較では、医業収益の中で、特に入院及び外来収益については、見込み時よりも患者数が減少とならなかったことにより、2 月の見込み時点では 2 億 4 千 7 百万円の収支不足を試算していたが、1 億 7 千 2 百万円まで圧縮することができた。また、費用についても、見込み時以降の職員の退職による給与費の減、各費用の節減により、約 1%程度の圧縮となった。

決算としては、全体的に平成 26 年度を下回る決算となったが、最終的には一般会計からの追加繰入 1 億 7 千 2 百万円により、不良債務は発生しない決算とした。不良債務についての詳細については、4 ページをご覧ください。

5 ページ、6 ページは経営分析指標の推移をまとめてある。備考欄には病床数 100～199 床の類似する公立病院の指標も参考に掲載している。

6 ページの上段、4 の医業収益の状況では、⑤医業収支比率、医業費用に占める医業収益の比率ということになるが、この数値が 100%を超え、黒字となることが理想ではあるが、公立病院にあつては不採算部門を多く抱えることから容易ではない。平成 27 年度では 77%、平成 26 年度の類似病院の平均値が 85%ということもあり、ここの比率が少しでも大きくなるのが病院経営にとって重要となる。

7 ページの一般会計からの繰入の推移・推計につきましては、先程の説明と重複するので省略する。決算資料の説明につきましては以上である。

(大野委員長)

では皆様の方から決算内容についてご意見ご質問等ございませんか。(声なし)

ご意見なければ 27 年度決算についてご承認いただけますでしょうか。(異議なし)

議案第 1 号の平成 27 年度士別市病院事業会計決算につきましてはご承認いただきました。

・議案第 2 号「平成 27 年度実施分士別市立病院新経営改革プラン実績報告」

(池田経営管理課長説明)

資料は A 4 サイズ 3 枚綴りものをご覧いただきたい。平成 20～26 年度の前プラン検証のもと、現在は 27～30 年度の 4 ヶ年での新プランを策定し、経営収支均衡を目標に実施中である。

取組内容は、資料の「2」にあるように、①名寄市立との連携で急性期から慢性期医療中心にシフトすることを中心に病院機能の明確化をはじめとして、②医師確保対策、③収益確保、④患者サービス向上、⑤業務効率化と経費削減、の 5 分野 38 項目あり、進捗率は一部実施と検討を含めると 36 項目を実施し 94.7%となる。詳細は「3」の経営改善取組状況を参照いただきたい。なお、未実施項目は、「外来待合室環境改善の検討」及び「公営企業法の全部適用等、経営形態の検討」の 2 項目である。

最終的に、療養病床増床効果で一定の収益確保は図られたものの、診療単価の高い一般病床入院患者数の減の影響は避けられず 1 億 7,200 万円の追加繰入れをいただき収支均衡を図ってきている。

「4」の数値目標の達成状況と、「5」のプランと決算の比較は先ほどのスライドで触れているので割愛させていただきます。

新経営課改革プランで示した病院運営の基本的な考えは、地域医療構想素案にも沿っており変更の必要はないと考えるが、収支見込みについては今後の患者動向を精査し検討する必要がある。

なお、平成 27 年度業務実施状況と平成 28 年度業務実施計画は、本日お配りした資料をご参照願いたい。

(大野委員長)

では皆様の方からご意見ご質問等ございませんか。(声なし)

ご意見ないようですので、議案第 2 号の平成 27 年度実施分士別市立病院新経営改革プラン実績報告につきましてはご承認いただきました。

その他、事務局から報告等ございますか。

(事務局)

ございません。

(大野委員長)

では全体を通して皆様の方からございませんか。(声なし)

先ほどの長島院長のご挨拶で伝わりますように、先生の強い信念をもった経営理念と、名寄市立総合病院との連携を強化しつつ士別市立病院の持ち味をより活かしていただき、患者さんのためになる意識を職員の皆さんにも改めて深めていただき、士別市立病院の利用度を高めていくようお願いしたいと思います。

それでは予定の時間になろうかとしておりますので、病院運営審議委員会を終わらせていただきたいと思います。お疲れ様でした、ありがとうございました。